

氏名	中村 潤子	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	輸血医学・輸血検査学・移植検査学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1997年 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科検査技術学専攻 卒業、2009年 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科生体検査科学専攻 博士（前期）課程修了、2015年 同大学院 博士（後期）課程修了				
経歴	1997年東京大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師、2011年東京大学医学部附属病院 輸血部 臨床検査技師、2017年東京大学医学部附属病院 輸血部 主任臨床検査技師、2024年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 准教授				
所属学会（役職）	日本輸血・細胞治療学会、日本組織適合性学会、日本検査血液学会、日本臨床衛生検査技師会、東京都臨床検査技師会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	移植・輸血検査学 改訂版	共著	あり	日本組織適合性学会、331頁	編者 木村 彰方 他、著者 中村潤子 他	2024年9月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	シンポジウム「当院における抗HLA抗体検査試薬「WAKFlow HLA抗体」の運用と問題点」	単独	第72回日本輸血・細胞治療学会、東京		○中村潤子	2024年5月
2	IH500を用いたカラム凝集法による不規則抗体価測定の基礎的評価	共同	第72回日本輸血・細胞治療学会、東京		○廣瀬由香、中村潤子、他	2024年5月
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	輸血・移植免疫検査学	○	15	輸血や移植の基本となる知識や検査について講義し、臨床の新しい知見を積極的に取り入れた。また国際的な視点も意識し、本邦の輸血管理体制や移植の現状、他国との相違点について考える機会を設けた。		
2	医療安全管理学		1	成分採血の操作方法とともに、採血操作に関連する臨床現場のインシデント例を紹介した。		

(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	検査機器総論	○	15	検査機器の基本原理や使用目的を理解しながら、安全で正しい操作が習得できるような演習を組み立てた。	
2	検査総合演習		1	国家試験直前の対策として、出題頻度が高い分野を中心に解説した。	
3	臨床検査基礎演習		6	輸血の歴史や我が国の輸血の現状を紹介した。また譲渡血液を用いて実際の血液製剤に触れる機会を設け、その血液で血液型検査を実施した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	輸血検査学実習	○	16	輸血に必須の検査である、血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験を実施した。また非常勤講師とともに、直接抗グロブリン試験や抗体解離試験を実施、臨床症例を想定し検査の進め方を解説した。	
2	移植免疫検査学実習	○	16	造血幹細胞移植時、臓器移植時に必要となる検査を紹介し、血液型検査の精査方法や解釈、抗体価測定を実施した。また移植コーディネーターをゲストスピーカーに招き、最新の移植の現状や移植に関わる他の職種を理解する機会を設けた。	
3	臨床検査技能実習		6	臨地実習での実施必須項目である血液型検査を指導し、実技の習得度を評価した。臨地実習前に確実に習得できるように指導した。	
4	ヒューマンケア体験実習		30	ファシリテータとして2チームのオリエンテーション、実習前後のフォローアップ、報告会の準備から発表までを指導した。	
5	臨地実習		2024.12-2025.3	臨地実習施設担当として、2名の学生の臨地実習をサポートした。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	修士論文	2024/4-2025/3	主指導（指導教員）	名 副指導（指導補助教員） 2名	
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	東京大学医学部附属病院 客員研究員	2024/2-2025/1	研究および学会発表の指導		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	該当なし				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし				

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学生支援	1年生学年担任	2024/4-2025/3
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会（人部門）	2024/4-2025/3
3	大学広報活動	オープンキャンパスにおける模擬講義、実習の実施	2024/8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		